

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果と分析（概要版）

I 令和4年度 全国学力・学習状況調査の概要

1 調査の目的

- ・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・本取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日及び対象学年、調査方式

令和4年4月19日（火）

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年、原則として全児童・生徒

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査

小学校調査は、国語及び算数及び理科。中学校調査は、国語及び数学及び理科。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ①児童・生徒に対する質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）
②学校に対する質問紙調査（指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査）

Ⅱ 教科に関する調査結果

1 平均正答率（令和4年度における板橋区・東京都・全国の正答率）

※国語、算数・数学、理科の平均正答率を東京都・全国と比較した。

平成30年度までは、国語・算数・数学においては、A問題とB問題に分かれている。

理科は3年に一度の実施のため平成30年度の結果のみ

小学校		平均 正答率(%)		令和3年度 における差	平成31年度に における差	平成30年度 における国との差	
国語	区	66	差	/	/	A	2.6
	都	69	-3.0				
	国	65.6	0.4			2.3	-1.8
算数	区	65	差	/	/	A	2.2
	都	67	-2.0				
	国	63.2	1.8			1.8	0.2
理科	区	64	差	/	/	/	
	都	65	-1.0			-2.0※	
	国	63.3	0.7			-0.3	

中学校		平均 正答率(%)		令和3年度 における差	平成31年度に おける差	平成30年度 における国との差	
国語	区	68	差	/	/	A	-0.5
	都	70	-2.0				
	国	69	-1.0			2.4	-0.1
数学	区	51	差	/	/	A	0.3
	都	54	-3.0				
	国	51.4	-0.4			1.8	-0.4
理科	区	48	差	/	/	/	
	都	51	-3.0			-0.6※	
	国	49.3	-1.3			-1.7	

※ 都との比較

(令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため実施なし)

(1) 平均正答率について

○小学校

【国語】 全国平均は上回ったが、都平均より下回った。
 【算数】 全国平均は上回ったが、都平均より下回った。
 【理科】 全国平均は上回ったが、都平均より下回った。

○中学校

【国語】 全国平均、都平均と比較して下回った。
 【数学】 全国平均、都平均と比較して下回った。
 【理科】 全国平均、都平均と比較して下回った。

(2) 平均正答数について

○小学校

【国語】 14 問中、9.3 問 (都 9.6、国 9.2) ※ (R3 14 問中 9.3 問 (都 9.5、国 9.1))
 【算数】 16 問中、10.4 問 (都 10.7、国 10.1) ※ (R3 16 問中 11.6 問 (都 11.8、国 11.2))
 【理科】 17 問中、10.8 問 (都 11.1、国 10.8)
 全国と比較して、国語が 0.1 問上回り、算数が 0.3 問上回り、理科は同等であった。
 東京都と比較して、国語が 0.3 問下回り、算数が 0.3 問下回り、理科は 0.3 問下回った。

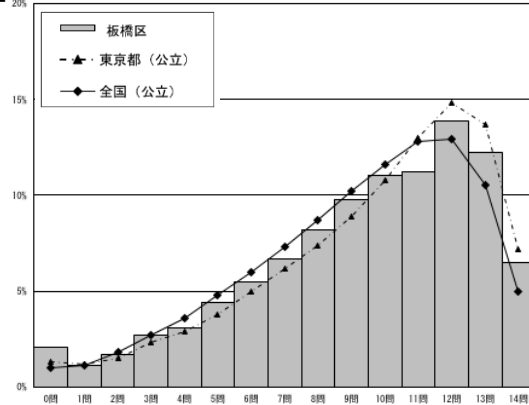
○中学校

【国語】 14 問中、9.5 問 (都 9.8、国 9.7) ※ (R3 14 問中、9.3 問 (都 9.4、国 9.0))
 【数学】 14 問中、7.1 問 (都 7.6、国 7.2) ※ (R3 16 問中、9.5 問 (都 9.6、国 9.1))
 【理科】 21 問中、10.2 問 (都 10.6、国 10.4)
 全国と比較して、国語は 0.2 問下回り、数学が 0.1 問下回り、理科 0.2 問下回った。
 東京都と比較して、国語は 0.3 問下回り、数学は 0.5 問下回り、理科は 0.4 問下回った。

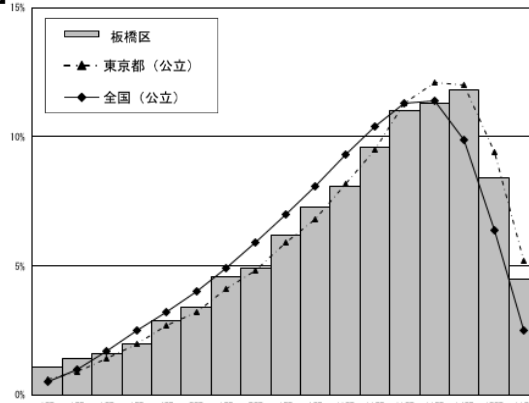
2 平均正答数 ※各平均正答数を全国と東京都と比較した。正答分布グラフから (横軸：正答数、縦軸：割合)

(1) 小学校

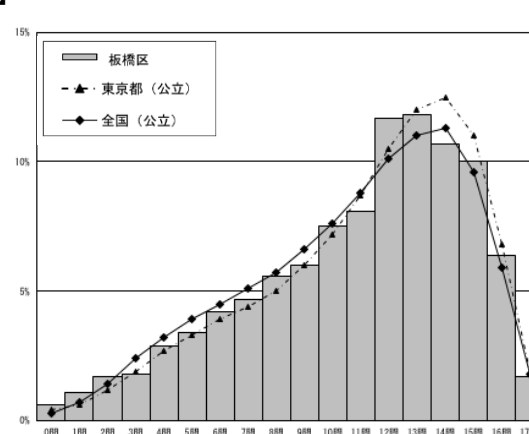
【国語】



【算数】

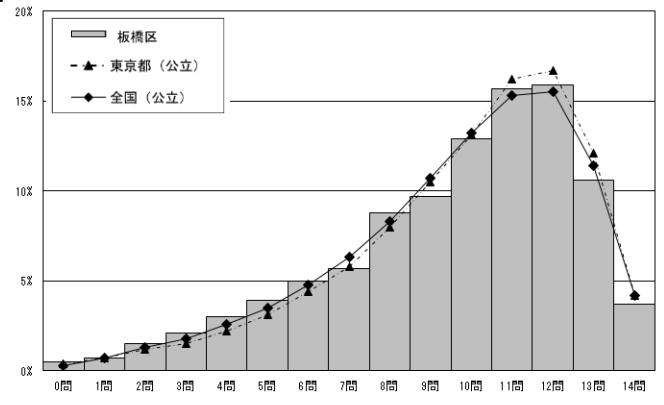


【理科】

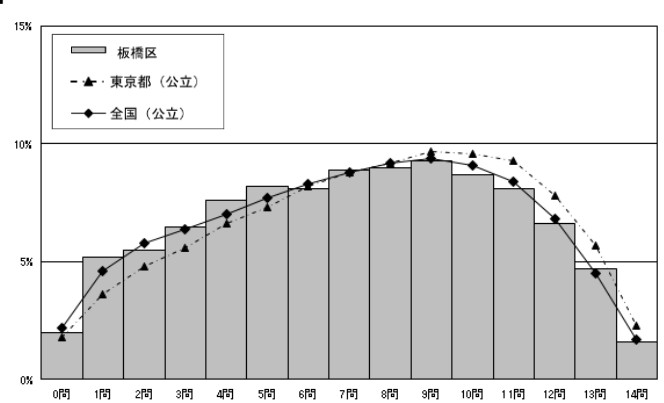


(2) 中学校

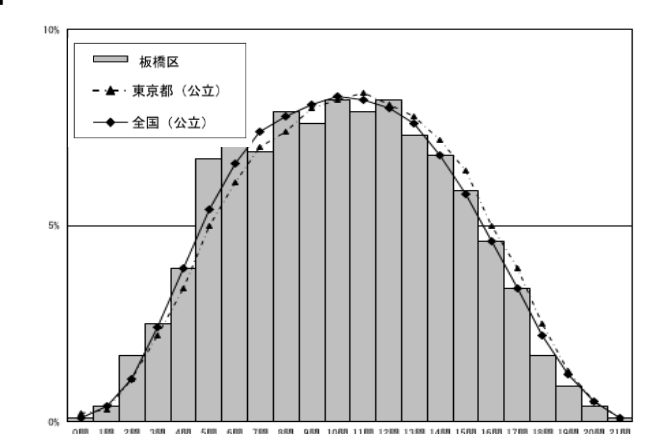
【国語】



【数学】



【理科】

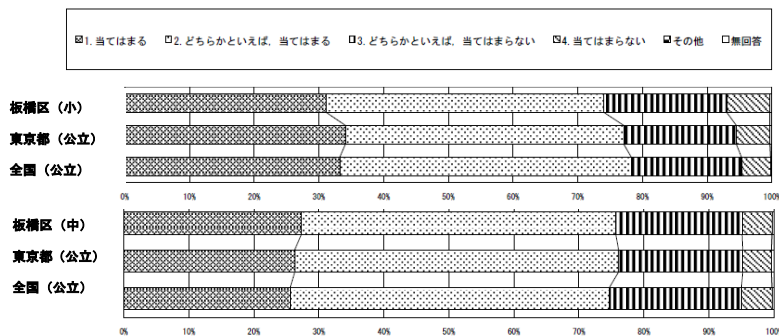


IV 児童・生徒質問紙に関する調査結果

※ 〈 〉 内は問題番号

1 学校での授業（「板橋区 授業スタンダード」との関連）〈小 44 中 44〉

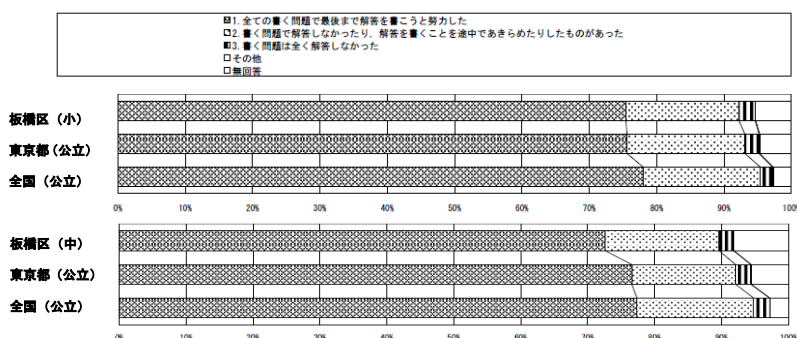
■学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。



○「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげること」について、「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒の割合は、小学校で全国や都と比較して多く、中学校は都と比較して多い。振り返りの時間の設定や質の向上に向けて、板橋区スタンダードの徹底等、継続的な取組が必要である

2 書く活動（国語）〈小国 1 中国 1〉

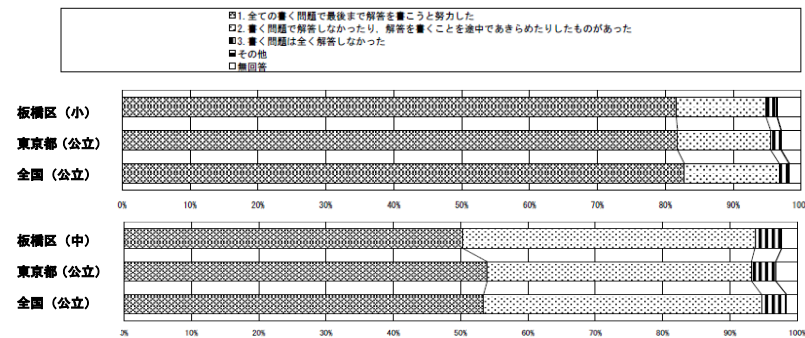
■解答を文章で書く問題について、どのように解答しましたか。



○全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した児童生徒の割合が、小学校は全国より低く、中学校では全国や都と比べて低かった。板橋区では無回答率の高さや、自分の考えをまとめたり、根拠を明確にして書いたりすることに課題がある。板橋区授業スタンダードに基づく授業の中で、考えを表出する時間を確保し、表現する力を身に付けることが必要である。

3 書く活動（算数・数学）〈小算 1 中数 1〉

■言葉や数、式を使って、説明する（わけや求め方などを書く）問題について、どのように解答しましたか。



○小学校では、全国や都と同様の傾向だが、中学校では、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合が5割程度であり、あきらめたり、解答しなかったりした生徒の割合は都や全国に比べて高かった。板橋区では、算数・数学における記述式の問題の無回答率の高いことや筋道を立てて考え、説明をすることが課題である。読み解く力の視点を取り入れた授業を行うなどして、数学的に説明する力を身に付けることが必要である。

4 書く活動（理科）〈小理 1 中理 1〉

■解答を文章などで書く問題について、どのように解答しましたか。



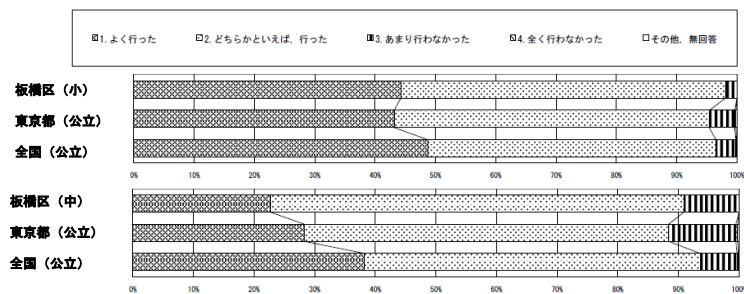
○小学校、中学校ともに都や全国に比べて、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力したと回答した児童生徒が少なかった。科学的な探究の充実とともに、言葉で説明をする機会を増やすなどして、自分の考えを表現することができるように学びを積み重ねていくことが必要である。

V 学校質問紙に関する調査結果

※ 〈 〉 内は問題番号

1 家庭学習 〈小（77）中（75）〉

■ 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童（生徒）に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか。（教科共通）

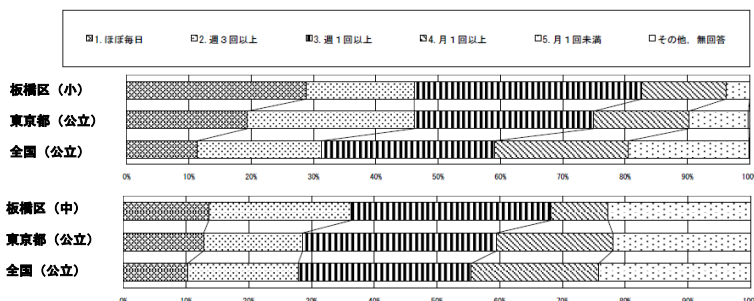


○家庭での学習方法等を具体的に例を挙げながら教えることについて、「よく行った」と回答した学校の割合が、小学校では、全国と比較して低く、中学校では、全国や都と比較して低い。普段の勉強の時間について、小中学校ともに30分より少ないと答えた児童生徒が全国や都を上回っていることから、家庭学習時間の増加や定着に向けて、より一層丁寧な支援が必要である。

2 授業ICTの活用 〈小（63）中（61）〉

■ あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか

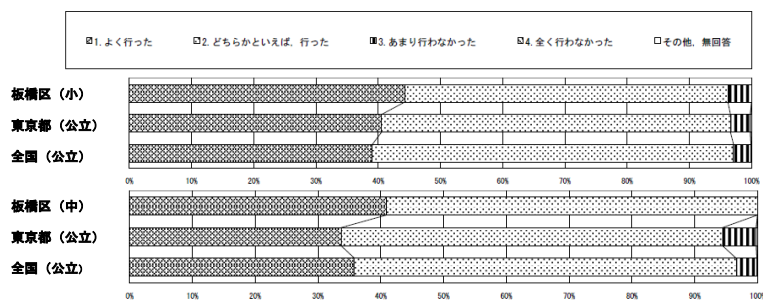
【児童（生徒）同士がやりとりする場面】



○児童生徒同士がやりとりする際、ICT機器を活用した取組について「活用している」と回答した学校の割合は、小中学校ともに全国や都と比較して高かった。一人一台端末を活用した学習が充実してきたことが分かる。中学校においては、月1回未満と回答した学校が22.7%あることから、今後さらに一人一台端末を有効に活用していくことが求められる。

3 児童・生徒への評価 〈小（37）中（37）〉

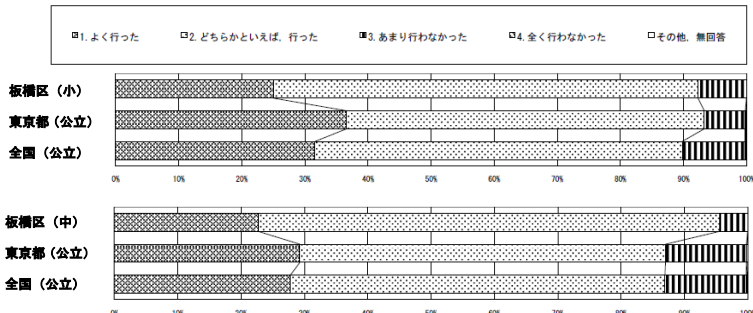
■ 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、児童（生徒）のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしましたか。



○児童生徒のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習の意義や価値を実感できるようにしたかについて、小学校において、「よく行った」と回答した学校の割合が、全国や都と比較して高かった。昨年度と比較して、小中学校ともに、大きく改善した。形成的な評価の充実を一層充実させていくことが求められる。

4 板橋区授業スタンダードに基づいた指導 〈小（29）中（29）〉

■ 今年度同一調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか。



○「よく行った」と回答した学校の割合が、小学校、中学校ともに国、都と比較して低かった。中学校では、「よく行った」と回答した学校の割合が昨年度より低下した。話し合い活動や、自分の考えを広げまとめる学習に取り組んだと回答している児童生徒の正答率が高いことが示されており、板橋区授業スタンダードに基づいた一層の授業改善を行うことが求められる。